

長崎市経済成長戦略策定に係る移住希望者アンケート調査

1. 調査目的

移住希望者の就業状況や本市に移住する場合の条件などを把握し、新たな経済成長戦略に向けた基礎資料とする。

2. 調査概要

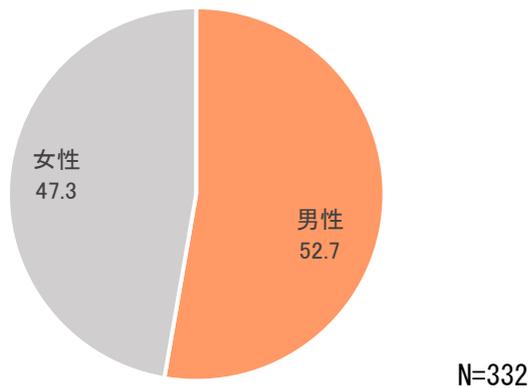
調査時期	令和3年5月
調査対象	福岡県在住18歳以上13,128人（スクリーニング調査）
調査方法	インターネットアンケート調査
回収結果	322人
調査内容	SCR1 地方へのUターン・Iターンの可能性 SCR2 将来の移住地としての長崎市の可能性 （以下本調査） 問1 出身地 問2 現在お住まいの所の家族構成 問3 現在の仕事の業種 問4 現在のあなたの職種 問5 他地域へ移りたいと思われている理由 問6 仮に長崎市に移住する場合、希望の業種 問7 仮に長崎市に移住する場合、希望の職種 問8 仮に長崎市に移住する場合、長崎市へ移住後の希望の世帯年収 問9 移住を決定するにあたっての重要度

3. 調査結果

属性 1: 性別

男性の回答者が女性に比べ多い

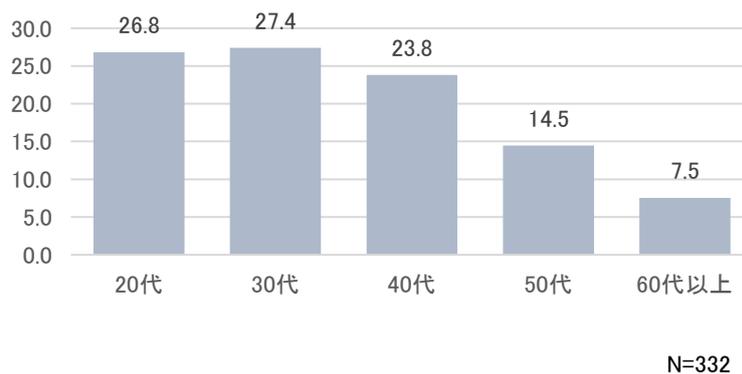
- 男性が 52.7%、女性が 47.3%と男性の回答が女性に比べ多い。



属性 2: 年齢

20代から40代にかけてバランスよい回答。高齢者の回答が少ない

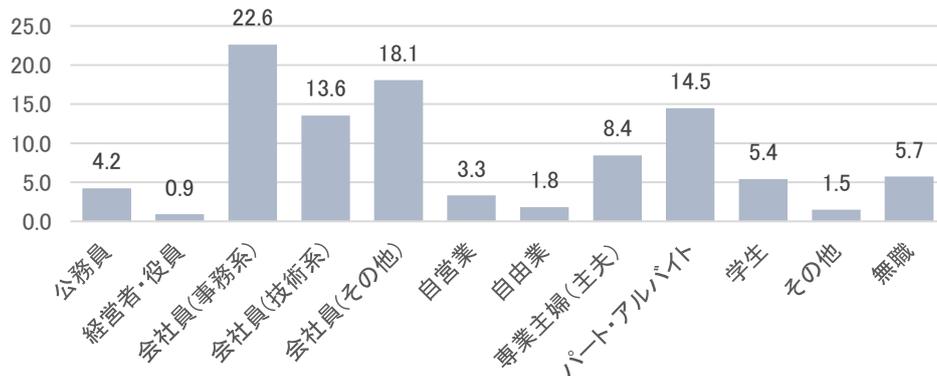
- 回答者の年代は20代、30代、40代がともに20%台とバランスよい回答を得た。



属性 3:現在の職業

会社員(事務系)が 22.6%で最多

- 現在の職業は、「会社員(事務系)」が 22.6%で最も多く、「会社員(その他)」が 18.1%、「パート・アルバイト」が 14.5%で続いている。



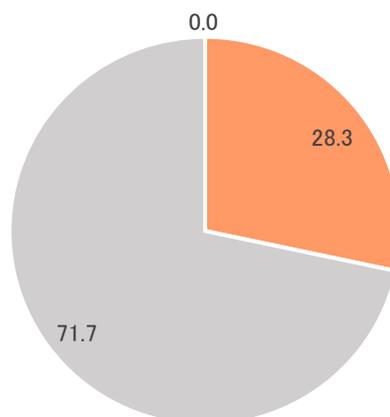
N=332

(スクリーニング調査のため、「将来も含め UI ターンの可能性はない」は排他)

SCR1:地方移住の可能性

「近い将来に可能性あり」は約 3 割

- 将来の移住の可能性を尋ねたところ、「時期や実現性はわからないが、希望としては、いつかは地方で暮らしてみたい」が 71.7%、「近い将来可能性があり」が 28.3%であった。



- 現在検討中。条件次第では近い将来に可能性あり
- 時期や実現性はわからないが、希望としては、いつかは地方で暮らしたい
- 将来も含めUターン・Iターンの可能性はない

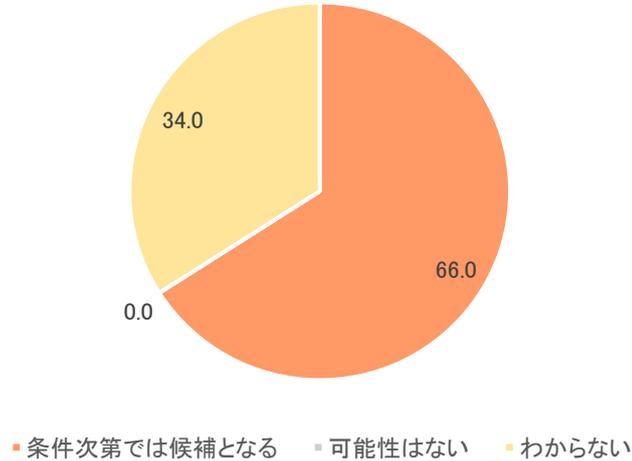
N=332

(スクリーニング調査のため、「可能性はない」は排他)

SCR2:長崎市への移住可能性

「条件次第では候補となる」が 66%

- 長崎市への移住可能性を尋ねたところ、「条件次第では候補となる」が 66.0%、「わからない」が 34.0%であった。



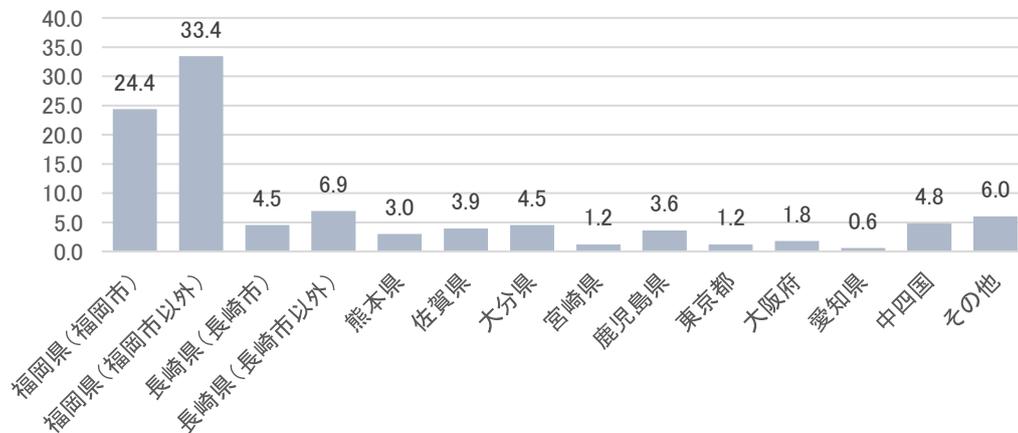
N=332

(本調査)

問 1:出身地

長崎県出身者 11%程度

- 出身地を尋ねたところ「福岡県（福岡市以外）」が 33.4%で最も多く、「福岡県（福岡市）」が 24.4%で続いている。
- 長崎県は「長崎市」が 4.5%、「長崎市以外」が 6.9%であった。

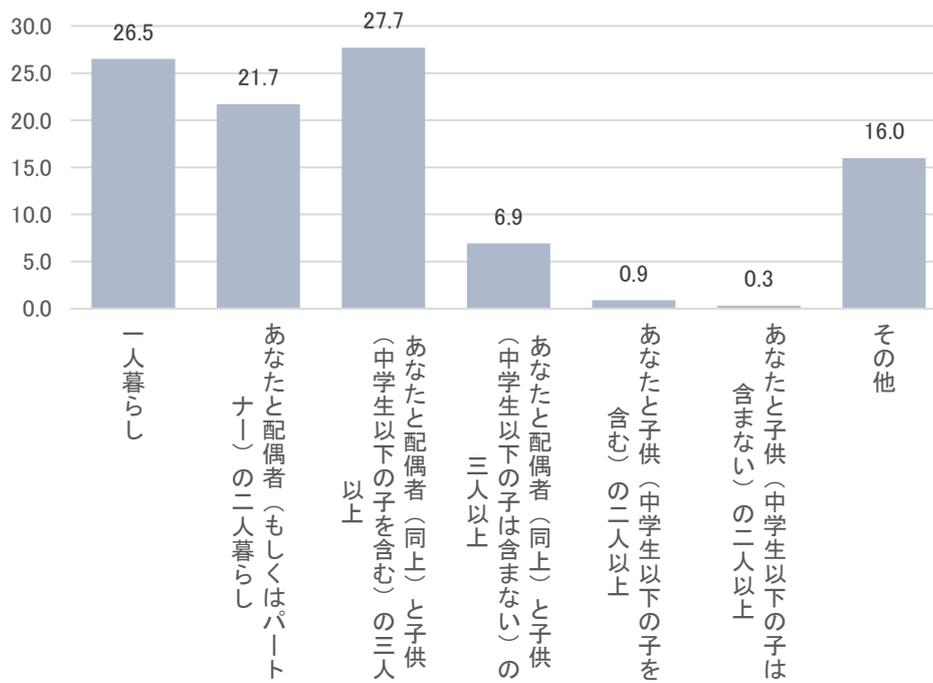


N=332

問 2: 家族構成

配偶者と子どもを含め 3 人暮らしが 27.7%で最多

- 家族構成を尋ねたところ、「あなたと配偶者と子どもの 3 人暮らし以上」が 27.7%で最も多かった。「1 人暮らし」が 26.5%で続いている。

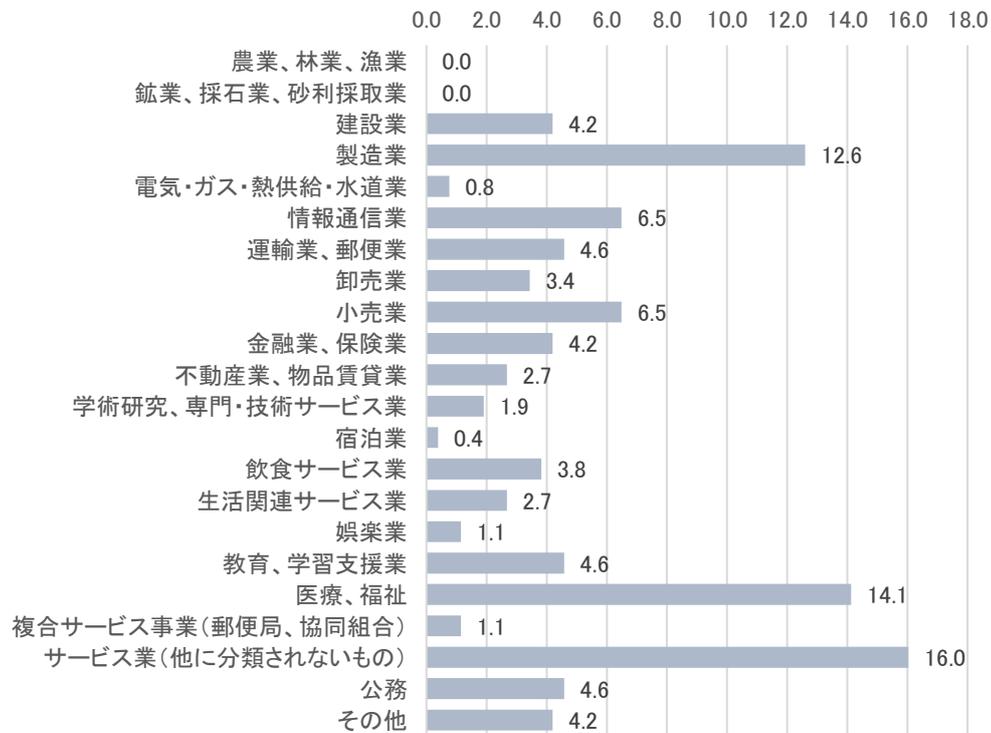


N=332

問 3:現在の職業

サービス業が 16.0%で最多

- 現在の職業は「サービス業（他に分類されないもの）」が 16.0%で最も多く、「医療・福祉」が 14.1%、「製造業」が 12.6%で続いている。

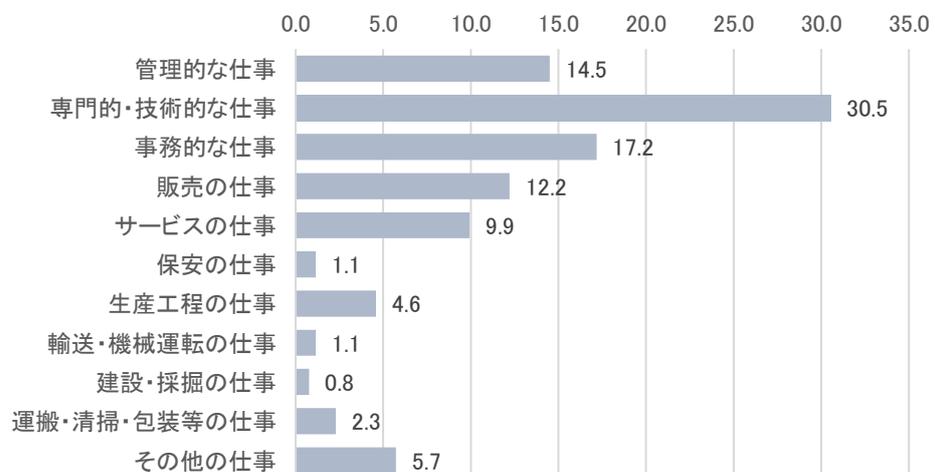


N=262

問 4:現在の職種

専門的・技術的な仕事が 30.5%で最多

- 現在の職種を尋ねたところ、「専門的・技術的な仕事」が 30.5%で最も多く、「事務的な仕事」が 17.2%で続いている。

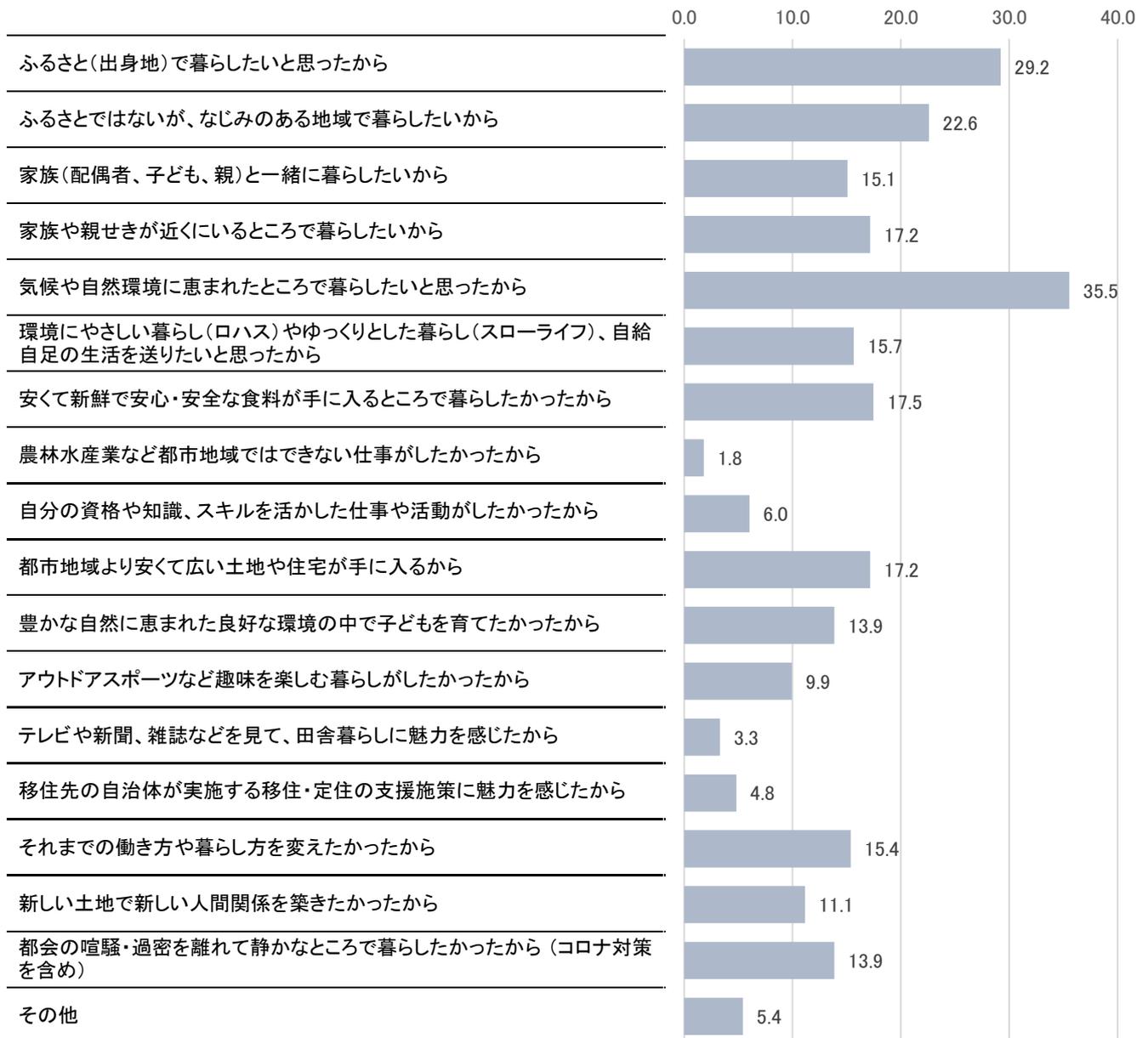


N=262

問 5: 地方に移住したい理由

「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたい」が 36.5%で最多

- ・ 地方に移住したい理由は、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいと思ったから」が 35.5%で最も多く、「ふるさと（出身地）で暮らしたいと思ったから」が 29.2%で続いている。

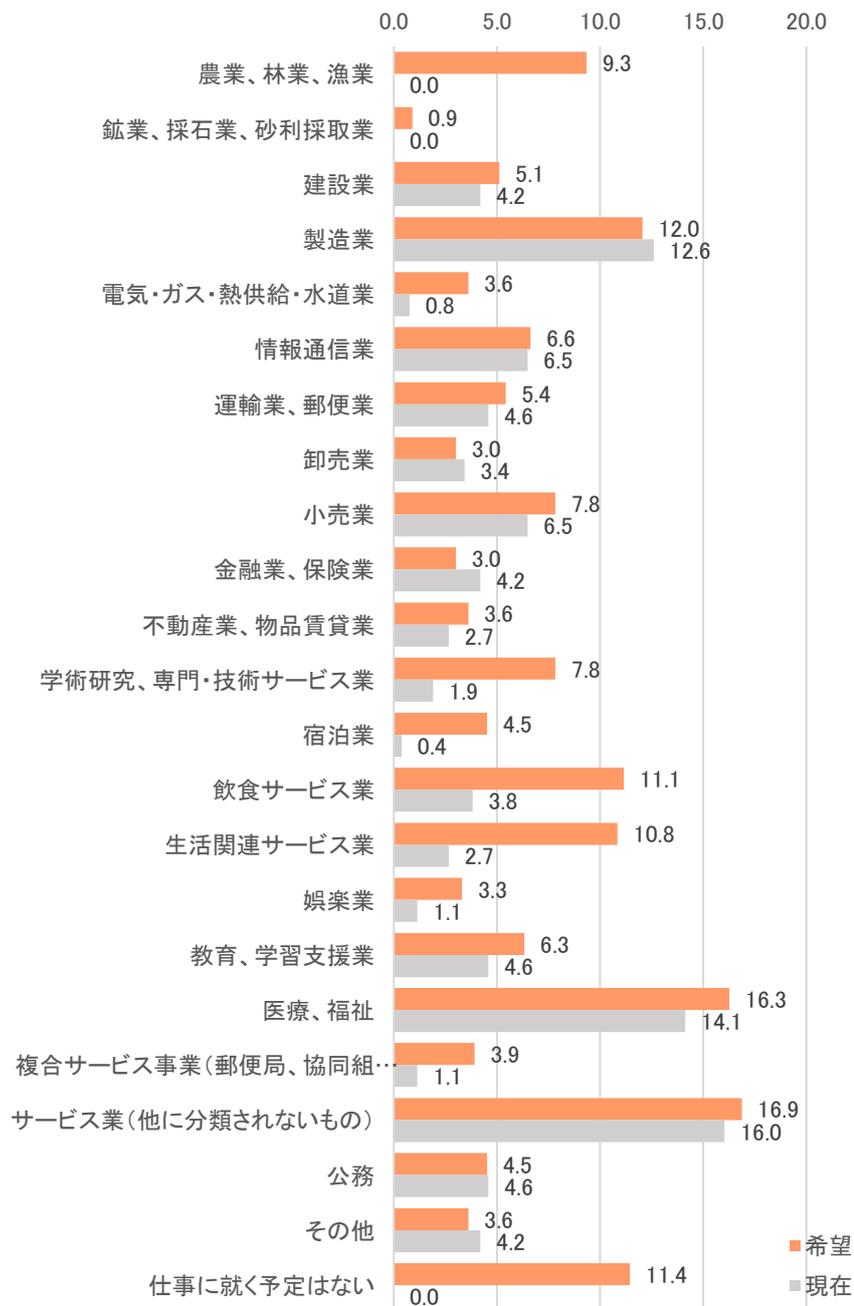


N=332

問 6:長崎市に移住する場合の希望の職業

第一次産業やサービス業などの希望が多い

- ・ 長崎市に移住する場合の希望の職業は、「サービス業（他に分類できないもの）」が 16.9%で最も多く、「医療、福祉」が 16.3%で続いている。
- ・ 現在の仕事とギャップが大きいのは、「農業、林業、漁業」、「飲食サービス業」、「生活関連サービス業」などである。

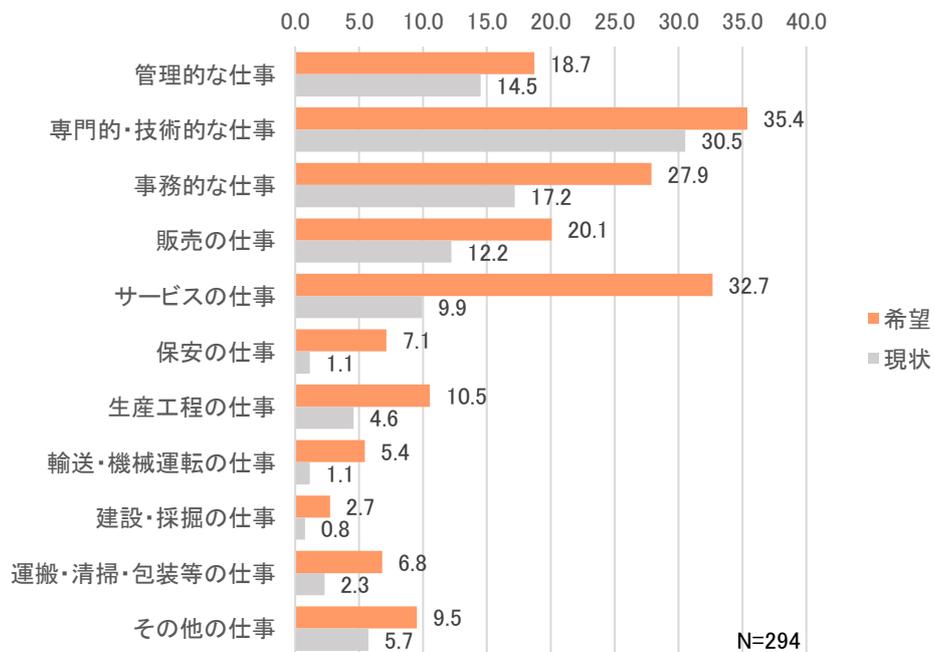


N=332

問 7:長崎市に移住する場合の希望の職種

「専門的・技術的な仕事」が 35.4%で最多

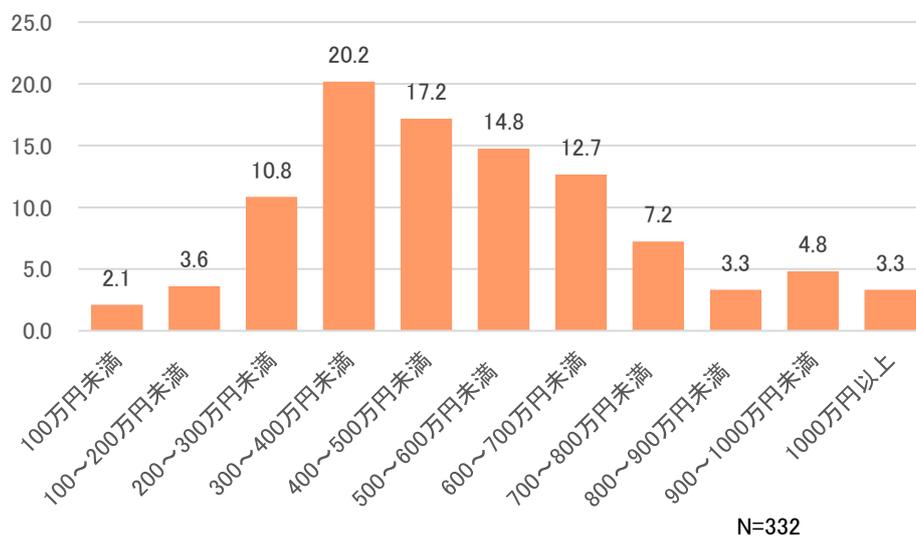
- ・ 長崎市に移住する場合の希望の職種は、「専門的・技術的な仕事」が 35.4%で、「サービスの仕事」が 32.7%が続いている。
- ・ 現実と希望のギャップが大きいのは「サービスの仕事」である。



問 8:長崎市に移住する場合の希望の年収

希望年収は「300～400万円」が最多

- ・ 長崎市に移住する場合の希望年収は、「300～400万円」が 20.2%で最も多く、「400～500万円」が 17.2%が続いている。



問 9:長崎市に移住する場合の重要事項

「安定した収入」が最重要課題に

- ・ 長崎市に移住する場合の需要事項としては、「安定した収入」が 60.8%（非常に重要）で最も多く、「買い物などの生活利便性」が 46.1%で続いている。

